

研究主任
 ・公開研究会
 ・研究体制の推進
 ・紀要づくり

六年担任
 ・9教科等の指導
 ・学級経営
 ・個別の支援が必要な児童への対応

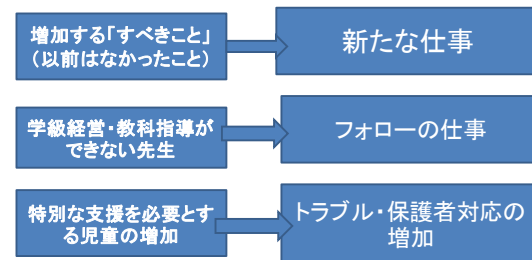
自分の家庭生活

大事だと思っていたこと



入学したときの思い

学校の先生は大変な状況にある。

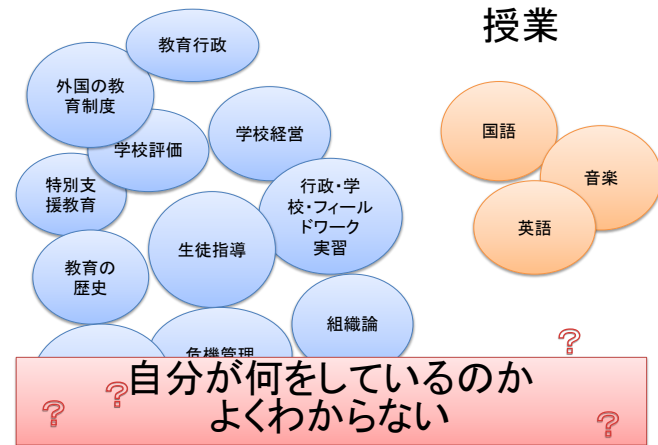


「学校っていいものだ」
と児童や保護者が感じる学校

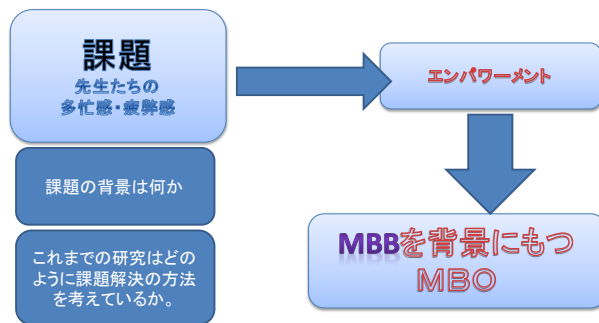
先

学校に役立つものを持って帰る。

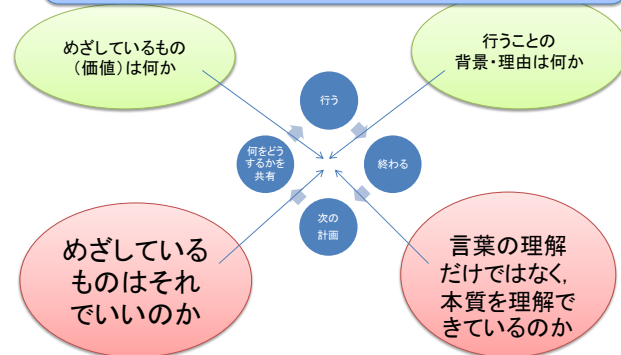
「みんなが幸せを感じる学校」

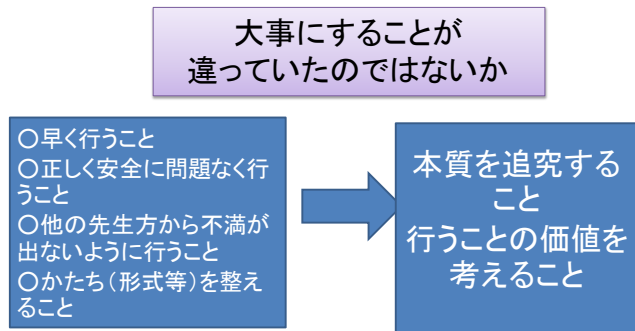


研究



授業と研究を通して学んだことは...

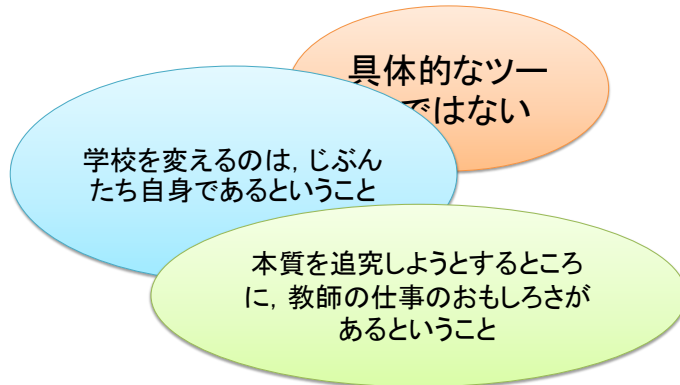




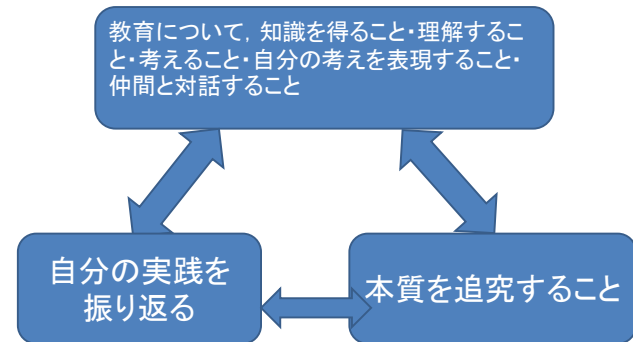
変化した仕事への向き合い方

考え方	仕事例	これまで	高度化	現在
行うことの 学校への 価値は何 かを考える。	調査関係	形式に合わせて早く作成し、提出、配布。	背景や求めているものを知ること。	調査結果は、学校の実践を外からみる視点となる。学校経営に対して、どういう意味をもつのか。何を示しているのかを考える。
正解はない。 だから、追 究しつづける。	研究授業	助言を正解と捉え、合わせた実践を行う。	他者と自分の考えとの弁証法的対話	助言を理解し活用しつつ、自分たち自身で、よりよい授業の在り方を追究する姿勢を持つ。
学校の存 在意義は 何かを考 える。	学校評価 保護者からの相談	自分に不都合な内容から目をそらす。	学校は、行政、保護者、地域を始め他者や他の組織との係わりの中に存在している。	「地域や保護者は学校に何を求めているのか。」を考え、学校評価を積極的に活用。

学校に何をもって帰ったのか



貴重な二年間



課題

どう、暗黙知を共有し、お互いを高めあうことができるのか。

